

食育事業取組報告書(加治川小学校)

食育活動区分	(該当するものを口で囲む)育てる・作る・食べる・返す	実施年月日	R4年5月～R5年3月
教科名	生活科	指導者	教諭:福島 慎也 教諭:倉島 尚子
単元名	きせつとなかよし(はる・なつ・あき)		
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> ・サツマイモの栽培を通して、春から秋にかけての季節を感じる。 ・サツマイモの栽培を通して、食べ物を栽培することの大変さや喜びを知る。 ・サツマイモの販売を通して、地域の方との交流を深める。また、売り上げを地域に還元することで地域への愛着を深める。 		
児童・生徒の活動		支援・指導上の留意点	
<p>6月…サツマイモ苗の定植</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地元の苗屋さんから苗を200本購入し、1・2年生が協力して定植を実施する。 <p>7月…苗の観察、除草</p> <ul style="list-style-type: none"> ・苗の生長を長さを測定したり、葉の数を数えたりして観察した。 ・畝の間に生えた雑草を除草し、抜いた草を堆肥にするため、山積みにする。 <p>9月…苗の観察、除草、試し掘り①②</p> <ul style="list-style-type: none"> ・試し掘りを実施し、大きさや数を確かめる。 <p>10月…試し掘り③</p> <ul style="list-style-type: none"> ・試し掘りを実施し、大きさや数を確かめる。 ・収穫までの様子を劇にして発表する。 <p>11月…試し掘り④、芋掘り、試食、販売</p> <ul style="list-style-type: none"> ・試し掘りを実施し、大きさや数を確かめる。 ・1・2年生で協力して、芋掘りを行う。 ・保護者へプレゼントし、家庭で調理して食べてもらう。 ・サツマイモ販売の準備を行う。(ちらし、看板、土払い、袋詰め、役割分担 等) 		<ul style="list-style-type: none"> ・地元の苗屋さんから購入したことを伝えることで、地域のことを知る機会とする。 ・定植の方法は、昨年も経験している2年生が1年生に教える形態で実施する。 ・定期的に観察する機会を設ける。 ・雑草が肥料になることを伝える。 ・怪我をしないよう軍手を着用する。 ・試し掘りを定期的に行うことで、サツマイモへの興味を高め、栽培への目的や意識を継続させる。 ・試し掘りで収穫したサツマイモを廊下に展示し、大きさや数の変化が感じられるようにする。 ・試し掘りで収穫したサツマイモを9月のものと比較するため、表示を付けて並べて展示する。 ・1年生が劇を作成し、ステージ発表を行う。 ・9月に収穫したサツマイモと比較し、収穫適期を伝える。 ・収穫の方法を2年生が1年生に教える形態で実施する。 ・収穫したサツマイモを乾燥させ、2週間かけて追熟することの意味を説明する。 ・家庭で調理して食べてもらうことで、販売する際の看板やちらしに活用できるようにする。 	
成果と課題	<p>成果</p> <ul style="list-style-type: none"> ・サツマイモを栽培することで、栽培することの楽しさや大変さを感じている姿が見られた。 ・サツマイモの販売することで、地域との交流を深めることができた。 ・売り上げを利用して、地域に貢献する活動を計画することで、地域を意識し愛着を深めることができた。 <p>課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・栽培から収穫までをより丁寧に観察し、興味関心を持続させる手立てを探る必要がある。 		
家庭との連携・地域	<ul style="list-style-type: none"> ・家庭に調理と試食のお願いをすることで、親子の会話が増えたとの意見をいただき好評であった。 ・栽培から収穫までの流れを劇にして発表することで、子ども達は栽培の振り返りを行い、保護者の方からは学びの様子が伝わり有り難かったとの意見をいただいた。 ・販売を児童玄関前(屋外)で実施したことで、連絡帳や学校アンケートに感謝の言葉をいただいた。コロナ禍で参観日を実施できなかったため、子どもの様子を知ることができなかったが、楽しそうに活動する姿が見られてよかったとの意見をいただいた。また、お金を扱うことで、生きた学びの実践であるという意見をいただいた。 		

